

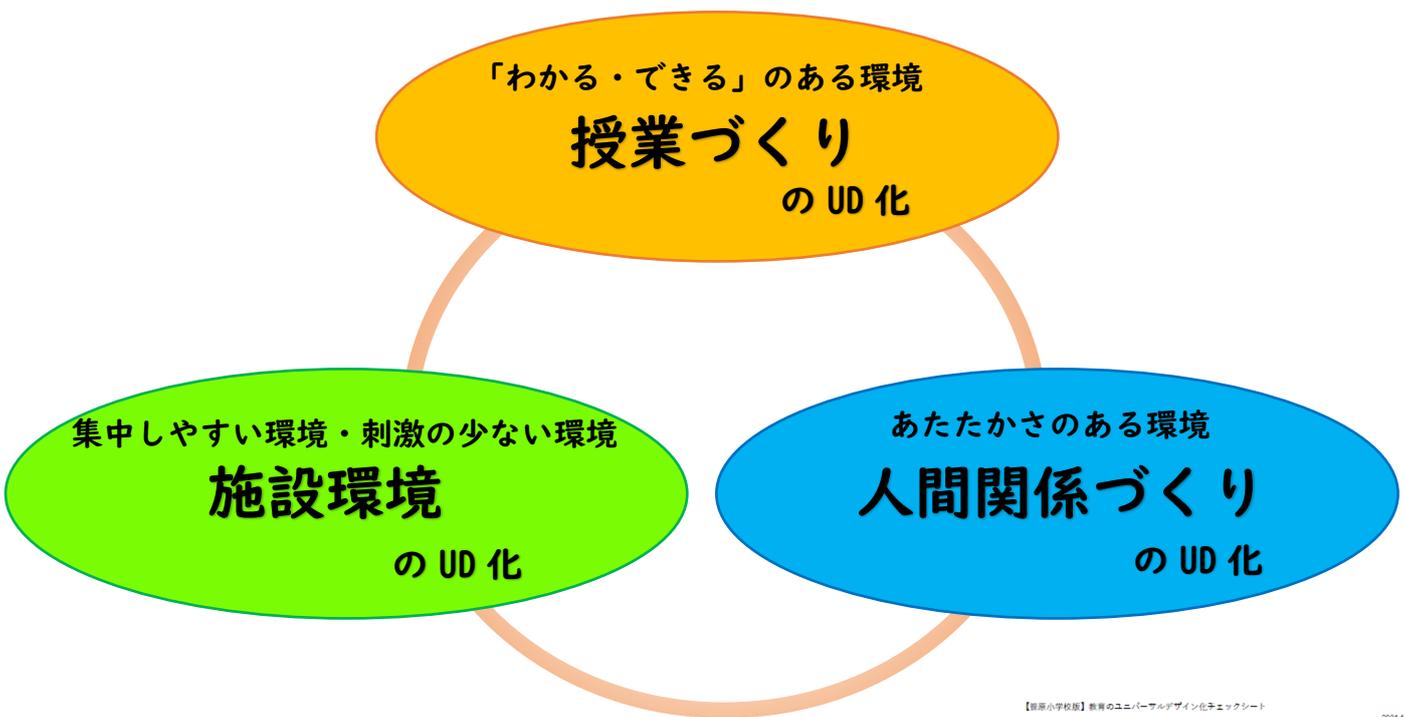
笹原小学校

ユニバーサルデザイン通信

本校では、すべての児童にとってわかりやすい授業づくりや生活しやすい学級づくりの推進を目的とし、教育のユニバーサルデザイン化(以下UD化)に取り組んでいます。

ユニバーサルデザインとは「調整または特別な設計を必要とすることなく、最大限可能な範囲ですべての人が使用することのできる製品、環境、計画及びサービスの設計」と定義されています。(障害者の権利に関する条約第2条より) このような考え方を教育に反映したものが、教育のユニバーサルデザインです。本校では、「授業づくり」「施設環境」「人間関係づくり」の3つのユニバーサルデザイン化を柱にして、日々の教育活動を行っています。

笹原小学校 UD化への3つの柱



教師は、この3つを柱に据えた18項目あるUDチェックシート(右図)を用いて、前期、後期で学級や授業での取り組みをふりかえっています。

また、教師間でUD化した取り組みを情報共有し、効果があるものを取り入れ、継続できるよう努めています。学びにふさわしい学習環境を整え、どの児童にとっても過ごしやすい学校を目指して、より一層取り組みを進めています。

今回は、1学期の学級での主な取り組みについてご紹介します。

【笹原小学校版】教育のユニバーサルデザインチェックシート

※本校で校内研究を通じて授業改善を行うとともに、授業づくり・環境づくりのユニバーサルデザイン化に取り組むことにより、2024年度よりよりわかりやすい授業づくり、過ごしやすい環境づくりを進めています。
※年度ごとの進捗から、ユニバーサルデザインの取り組みとして、「施設環境デザイン化」【施設環境部】の取り組みや「わかる・できる」などを本校で行っています。
※各項目の取り組みをチェックし、必要な取り組みを進めています。

項目	2023年度	2024年度	実施状況の簡潔	目的
1			授業の前後準備は、必ずしも必要としている	準備不足が原因で授業が滞り、集中して授業を受けることができない。
2			机と机の間、壁と机の間を確保している	そこに入室物の置放や機、説明を義務することで、視認性にわかりやすくする。
3			機材の入れかたの簡便な仕組みを確保している	視認性にわかりやすくする。
4			目印の手紙(目印標)を見やすく確保している	目印を見逃しを減らす。
5			授業のルーティンなどをわかりやすく確保している	1つ1つの授業内容や活動の順序や時間配りを明確にし、授業の進捗を確認できるようにする。
6			授業の前後準備は、必ずしも必要としている	準備不足が原因で授業が滞り、集中して授業を受けることができない。
7			机と机の間、壁と机の間を確保している	そこに入室物の置放や機、説明を義務することで、視認性にわかりやすくする。
8			機材の入れかたの簡便な仕組みを確保している	視認性にわかりやすくする。
9			目印の手紙(目印標)を見やすく確保している	目印を見逃しを減らす。
10			授業のルーティンなどをわかりやすく確保している	1つ1つの授業内容や活動の順序や時間配りを明確にし、授業の進捗を確認できるようにする。
11			授業の前後準備は、必ずしも必要としている	準備不足が原因で授業が滞り、集中して授業を受けることができない。
12			机と机の間、壁と机の間を確保している	そこに入室物の置放や機、説明を義務することで、視認性にわかりやすくする。
13			機材の入れかたの簡便な仕組みを確保している	視認性にわかりやすくする。
14			目印の手紙(目印標)を見やすく確保している	目印を見逃しを減らす。
15			授業のルーティンなどをわかりやすく確保している	1つ1つの授業内容や活動の順序や時間配りを明確にし、授業の進捗を確認できるようにする。
16			授業の前後準備は、必ずしも必要としている	準備不足が原因で授業が滞り、集中して授業を受けることができない。
17			机と机の間、壁と机の間を確保している	そこに入室物の置放や機、説明を義務することで、視認性にわかりやすくする。
18			機材の入れかたの簡便な仕組みを確保している	視認性にわかりやすくする。

学習の見通しがもてる支援

7月17日(水)	
朝	7月17日(水)
1 生活	こん虫かき はやく (びん)のモラル 気をつけて
2 国語	読書かんぶん文 かこう
3 算数	図をつかって考えよう テスト かで①
4 学組会	(夕目的室) かもつれしや・ストアゲーム きょう食・そら おわりの会
5	1:25下校

教科だけでなく、どの単元を学習するか書かれていることで、先に学習の用意をすることができます。

テスト予定

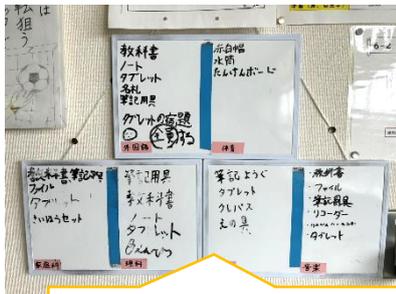
- 7/28(金) 小数のわり算
- 7/1(月) ユニバーサルデザインテスト
- 7/2(火) 理「台風」テスト
- 7/4(木) 文「課題」テスト
- 7/5(金) 保健テスト
- 7/8(月) 「言葉の意味が分かる」テスト
- 7/10(水) 漢字大テスト
- 家庭科テスト
- 7/11(木) 割合テスト
- 7/12(金) 読み取りテスト
- 7/12(金) 合同テスト

高学年になると専科でのテストも増えてきます。一覧にすることで、テストに向けて見通しをもって学習をすすめることができます。

水泳学習の予定

- ~~7/20(木) 1-2 時間目~~
- ~~7/25(水) 5-6 "~~
- ~~7/27(木) 1-2 "~~
- ~~7/1(月) 1-2 " 中止~~
- ~~7/4(木) 1-2 "~~
- ~~7/8(月) 3-4 "~~
- 7/11(木) 34 "

特別な学習を楽しみにする児童も、不安に思う児童もいる中で、予定が分かると見通しがもてます。



専科の持ち物をそれぞれの係が聞いて、口頭で伝えるだけでなく、見て確認できるようにすることで、忘れ物がないよう意識することができます。

1	読み取り
2	漢字
3	計算・数・割合
4	リラクセス
5	

1	こくごプリント
2	まんじゅうプリント
3	リラクセス
4	
5	

1	漢字トク完が
2	テスト
3	かんじ
4	リラクセス
5	

各々が、1時間に学習する内容の見通しをもてるよう提示しています。子どもたちと相談して学習内容を決めることもあります。どこまで頑張ればよいか見通しがもてることで、支援学級の子どもたちも集中して学習に臨んでいます。

学習を想起する支援

2年

<p>ひきざん</p> $\begin{array}{r} + \\ 36 \\ -24 \\ \hline 12 \end{array}$ <p>①一のくらゐにひいてはひき、 6-4=2 ②十のくらゐにひいてはひき、 3-2=1 ③こたえ12です。 上から下にひいてはひき、 3-2=1</p>	<p>ひきざん(くりげり)</p> $\begin{array}{r} 4 \\ 53 \\ -26 \\ \hline 27 \end{array}$ <p>①一のくらゐにひいてはひき、 3-6はひけません。 十のくらゐにひいてはひき、 13-6=7 ②十のくらゐにひいてはひき、 4-2=2 ③こたえ27です。 右から左までひいてはひき、 3-6はひけません。</p>	<p>たしざん</p> $\begin{array}{r} 21 \\ +43 \\ \hline 64 \end{array}$ <p>①一のくらゐにひいてはひき、 1+3=4 ②十のくらゐにひいてはひき、 2+4=6 ③こたえ64です。 右から左までひいてはひき、 1+3=4</p>	<p>たしざん(くりげり)</p> $\begin{array}{r} 134 \\ +28 \\ \hline 162 \end{array}$ <p>①一のくらゐにひいてはひき、 4+8=12 (1つへんにひき、 12を書かないで) ②十のくらゐにひいてはひき、 ③十のくらゐにひいてはひき、 1+3=2=6 ④こたえ162です。</p>
--	--	--	---

3年

わり算

12このいしを3人で
同じ数に分ける。
(例) $12 \div 3 = 4$

わる数 3
わられる数 12

11 $\times 3 = 3$
12 $\times 3 = 6$
13 $\times 3 = 9$
14 $\times 3 = 12$

わる数の九九を使う。
 $12 \div 3 = 4$
答え 4こ

4年

① インタラクティブフラッシュカードについて

② 木村さんが大切にしていることについて

③ Aの案内図について

④ Bの案内図について

⑤ 筆者の考え

木村さんが大切にしていることについて

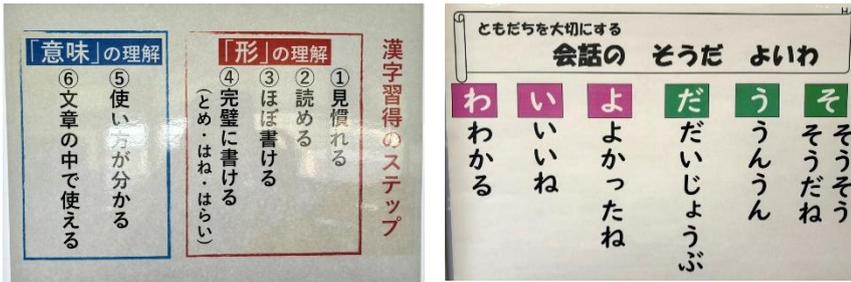
対比

思いやりのデザイン

木村 博之

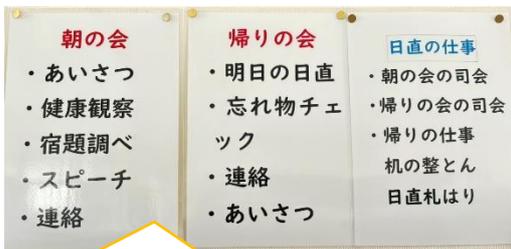
学習した内容を端的にまとめることで、子どもたちはこれまでの学習を想起しやすくなります。

汎用性の高い学習支援

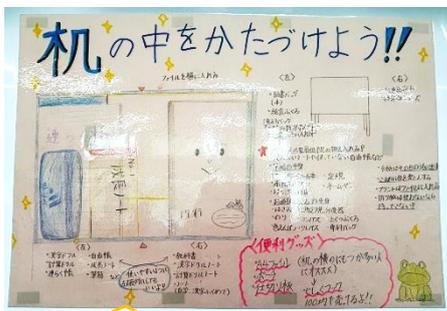


漢字はどの学年でも学習するので、学年が上がっても、このステップを活かすことができます。また、会話はどのような場面でも必要なことなので、日常的に目にすることで意識づけることができます。

生活における視覚的な支援



日常生活のことではありますが、日直として大勢の前で話すことに抵抗がある子どもたちもいます。これを手掛かりにすると何を言えばよいか思い出して話すことができます。



机の中をどのように整理すればよいかイラストを交えてわかりやすくまとめられています。子どもたちが自作したものを掲示することで、自主性も高められています。



だれにとっても分かりやすく、一目でわかる視覚的な支援です。日ごろから子どもたちが意識して、きれいに片づけています。



保健室からは、子どもたちへの大切なお知らせを視覚的に分かるよう工夫して発信しています。視覚にうったえることで、興味をもち、足を止めて読むきっかけにもなっています。



一週間を視覚的に認識できるようなシートを用いて、曜日感覚を養っています。マグネットを毎日動かして、曜日を意識できるようにしています。